

沖繩戦での人々の思い

読谷小学校 五年三組 島袋 愛鈴

私たちが生まれてないころは、沖繩戦とい
う沖繩の人々に心の傷や悲しみを
おゆせた戦争が沖繩戦です。沖繩戦
では、75年前に約二十万人の
アメリカ軍が沖繩に上陸して予
想を上回るほどの悲しい出来事
がありました。沖繩戦では、まだ
未成年というのに男子は兵隊
をし、女子はけがをした人々の
介護という今の時代では、
せつないに考えられない戦争だ
ったのです。沖繩戦では十二
万人以上の人々がなくなりまし
た。

私は、この沖繩戦での戦争をど
うして話し合いで問題を解決
できなかったのか、どうして
も疑問です。そしてこの沖繩
戦では、県民の人達の食べ物
があまりにも少ないけど、昔
の人は、桑くわや芋の葉、ヘゴゴや
パイヤの芯、カタツムリ、カ
エル、ドニカリなどを食べ、
飢えをしのいでいたという記
事を見つけて今の私達は、
とてもめぐまいているんだなと
実感

することができた。それでも一番つらいのは
 家族や友達、知人を亡くした人だと思いまし
 た。なぜならこの戦争で生き残っても、つら
 い思いをして亡くなつた家族や友達が生き残
 っていないので生き残つた人々は、大事な人
 々をうしなつてとつらかつたと思いまし
 た。一人でも家族や友達、知人が亡くなつた
 らつらいのに、その倍の数十人、数百人の人
 達が亡くなつているので、とつらい思い
 をした沖繩戦だと思いました。

そして、沖繩戦での新聞を見ていたら、沖
 繩戦で家族10人を失^うた女性や、味方に殺さ
 れた17歳の少年と次々に悲しいニースがあ
 りこの沖繩戦の事を語る生き残つた人々も大
 切な人を殺された悲しい思いだけがずつと残
 っていると思つたら、この沖繩戦での戦争や
 他の国々での戦争は、なにがあつても必ず決
 してしてはいけないものだと分かりました。
 あと、どうして日本軍とアメリカ軍の戦争
 なのに、どうしても何も関係のない子供たちや

県民の人々を戦争にまきこんでたくさん死者を出したのかどうしてものぞだと思いません。

そして私は、これから未来をよく考えて大勢の死者やケガ人を出す戦争や行為が、これからもなくなっただけいいと心から思います。このように、戦争は戦争だから大勢の人々を銃殺や、爆撃の殺人行為は決してやめて、戦争だからと言いい人を殺害するのは、良くないとも思いました。

このようなことから、人が人と協力して、亡くならないように助け合いをしたりするところがこの戦争では、一番大切だと思えました。あと、今後暴力で解決や人を殺して解決や人々をマイナスにして解決になっただけいいと思いません。